

令和2年度 社会福祉法人 馴鹿

施設重点目標

1 共通目標

① 法令を順守します。

- イ 障害者総合支援法に従って施設運営を行います。
- ロ 利用者の基本的人権を尊重し、あらゆる場面でこれらが損なわれないよう支援とサービスの提供を行います。

② 利用者が楽しく通える福祉サービス施設を目指します。

- イ 健康管理の強化を図る。
利用者の健康診断を年2回行い、個々の結果に沿った細かい対応を実施する。
利用者の健康管理強化の為、看護師による施設巡回を実施します。
- ロ 所内でのレクリエーションを取り入れる。
休日開所等を利用して利用者が馴鹿に来て楽しいと思えるようなレクリエーションを考え取り入れます。
アイセルプ、トナカイ福祉交流館あい、各施設間の交流が深まるような企画を取り入れます。
- ハ 明るく活気ある職場作りに努めます。
利用者、職員、共に認め合い、常に共笑に努め、笑顔が絶えない職場を目指します。また、利用者、職員、個々に楽しい目標を掲げ、その目標に向かって日々の活動を行い活気ある職場にします。
- ニ 職員の資質向上に努めます。
資格取得に積極的に取り組み、知識、技能共に向上出来るように努めます。
自己申告や上司との面談を通じて、業務等の目標を設定し、全員が共通認識を持った上で業務に向かい、年度を通じて業績・能力・情意を把握確認しながら対話を行い、職場のコミュニケーションの円滑化を図り、職員一人一人のやる気と達成感の共有を重視した人材育成に取り組みます。
- ホ 施設内の自主点検の実施に努めます。
監事及び第三者委員による施設内自主点検を実施します。

③ 利用者支援の充実に努めます。

- イ 的確な支援計画の作成

関係機関と連携を図り、相談員によるサービス等利用計画及び、個別支援計画の作成を保護者、利用者、支援員の協同作業として取り組みます。

ロ 利用者の状況を保護者、支援員で共有する。
保護者と一緒に作成した個別支援計画に基づき、保護者と支援員が支援の方向性を一つにし、確認しながら支援を行います。

ハ 利用者の日々の状況を必ずケア会議で確認します。
送迎終了後、各々の担当利用者について当日の利用者の状況を報告、相談、検討を重ね、共通共有情報として把握し、全ての利用者を支援員全員が支援出来るようにします。

④ 利用者の体力低下についての対応に努めます。

イ 各施設の環境に即した場所での体操の実施、又愛媛県スポーツ大会の積極的参加等、利用者個々の状況に合った体力の保持、健康管理を行います。

⑤ 地域社会の皆さんと積極的にふれ合い、地域社会への認知に努める。

イ 観桜会、各種バザー、イベント、資源の回収、及び清掃等の諸活動に参加し、地域の方々と直接ふれ合い、馴染の認知と社会貢献に努めます。

⑥ 利用者、職員共に、感謝の気持ちの醸成に努めます。

イ 恒例の行事として「馴染ふれあい感謝祭」を12月に開催します。

ロ 馴染施設創設者の命日、6月23日を「感謝の日」と定め、職員利用者で行事を行います。

⑦ 新卒者、中途の通所者については、体験通所をお願いし、担当者会議（利用者、保護者、相談員等、施設職員）を行い、利用者、施設双方が納得したうえで入所決定します。

2 施設別目標

アイセルプ

【共通目標】

イ アセスメント・ニーズ把握を適切に行い、それに沿った個別支援計画を作成し、その目標に向かって日々の活動を行い活気ある職場づくりに努めます。

① アイセルプ班

- イ お互いがお互いを認め合い、良いところは良いと素直に笑顔で言える仲間づくりに努めます。
- ロ 自己申告や上司との面談を通じて、業務等の目標を設定し、全員が共通認識を持った上で業務に向かい、年度を通じて業績・能力・情意を把握確認しながら業務に取り組めます。

② ばっぼ班

- イ 環境要因に配慮し、状況に合わせて細目な対応に努めます。
- ロ 日中活動や休日開所で、楽しみや社会経験の場を増やし、社会性を高めます。

トナカイ福祉交流館あい

【共通目標】

- イ 個別支援計画作成フローの見直しとアセスメントシートの活用更新により支援内容の向上、ニーズの把握の改善に努めます。
- ロ 各班の売り上げ目標（予算）達成に向けた取り組みを具体化し、利用者・支援員で協力する事による一体感、達成感の充実を目指します。
- ハ 利用者の健康状態の把握に努め、健康管理を支援します。
- ニ 相談支援員をはじめ関係機関との連携強化及び情報共有に努め、新規利用者の確保に向けた見学、体験実習の積極的な受け入れを行います。

① 交流館軽食班

- イ 新規メニューの開発及び既存メニューの見直し等、売上増に向けた取り組みを行います。
- ロ 他者の仕事を手伝うなど、他人を思いやる事で、利用者間での仲間意識の向上、対人コミュニケーションの向上を目指します。
- ハ 衛生管理への意識向上を図り、食品事故防止に努めます。

② パソコン班

- イ 既存客へのニーズの深堀、新規顧客の獲得に向けた営業活動を積極的に行います。
- ロ 個々の担当作業を責任を持って完了する事により、自信と責任感の向上に努めます。
- ハ 要介助者に対しての見極めに努め、残存機能の維持に繋がる介助を目指します。

③ 茶房あい

- イ テイクアウト商品の開発・販売を行い昼食時以外の売り上げ向上を目指します。
- ロ 利用者の特性に合った担当作業のスキルアップを支援します。
- ハ 室内エクササイズ等を行うとこで、運動不足の解消に努めます。

④ パン工房あい

- イ 生産スケジュールを考慮しつつ、茶房及び軽食班での商品販売による売り上げ向上を目指します。
- ロ 生活面でのフォロー助言を可能な範囲で行い、利用率の維持に努めます。
- ハ 生産工程の見直し等、作業効率の向上を目指します。